

目次  
CONTENTS

- 2 特集 「嵯峨谷」を未来へつなく
- 10 特集 水の恵みを与えた大畑才蔵
- 12 情報ワイド
  - ▶ 入札参加資格審査
  - ▶ 市政功労者表彰・文化表彰
  - ▶ 年末年始の業務案内
  - ▶ 市営住宅入居者募集 など
- 17 情報ひろば
- 24 タウン情報
- 25 子育てぱーく
- 26 本のひろば
- 27 健康カレンダー
- 28 フォトトピックス

今月の表紙



大阪芸術大学デザイン学科・放送学科の皆さん。今月号の表紙は、学生の皆さんが考案してくれました。

特集

隠れ里「嵯峨谷」を  
未来へつなく  
架け橋プロジェクト

嵯峨谷とは

嵯峨谷は、橋本市の北西端に所在し、市街地や京奈和自動車道のインターチェンジも近くにあり、交通の便が良い場所にあります。そのような立地でありながら、一歩集落に入ると景色は一変し、昔ながらの石積みの棚田や、ひっそりと佇む家々が現れ、訪れた人に「隠れ里」を感じさせてくれます。

近年の課題

一方で、山間の集落が避けて通ることのできないさまざまな課題も抱えています。嵯峨谷の人口は減少の一途であり、高齢化率も年々上昇しています。住民の多くは農業を営んでいますが、集落は傾斜が急で険しい地形にあり、棚田や段々畑などで稲作や果樹栽培を行う必要があるため、農作業には多くの労力を必要とします。また、麓の幹線道路につながる道路も一本のみであるため、災害発生時には高齢化が進む地域の孤立化が懸念されます。

これらの要因により、嵯峨谷では地域の担い手不足が深刻な状況となっています。古くから嵯峨谷に代々受け継がれている伝統行事「嵯峨谷の神踊り」も若者の流出による踊り手不足から存続が危ぶまれており、新たな担い手の創出のためには一年を通して地域外から人を呼び込むための工夫が必要となります。